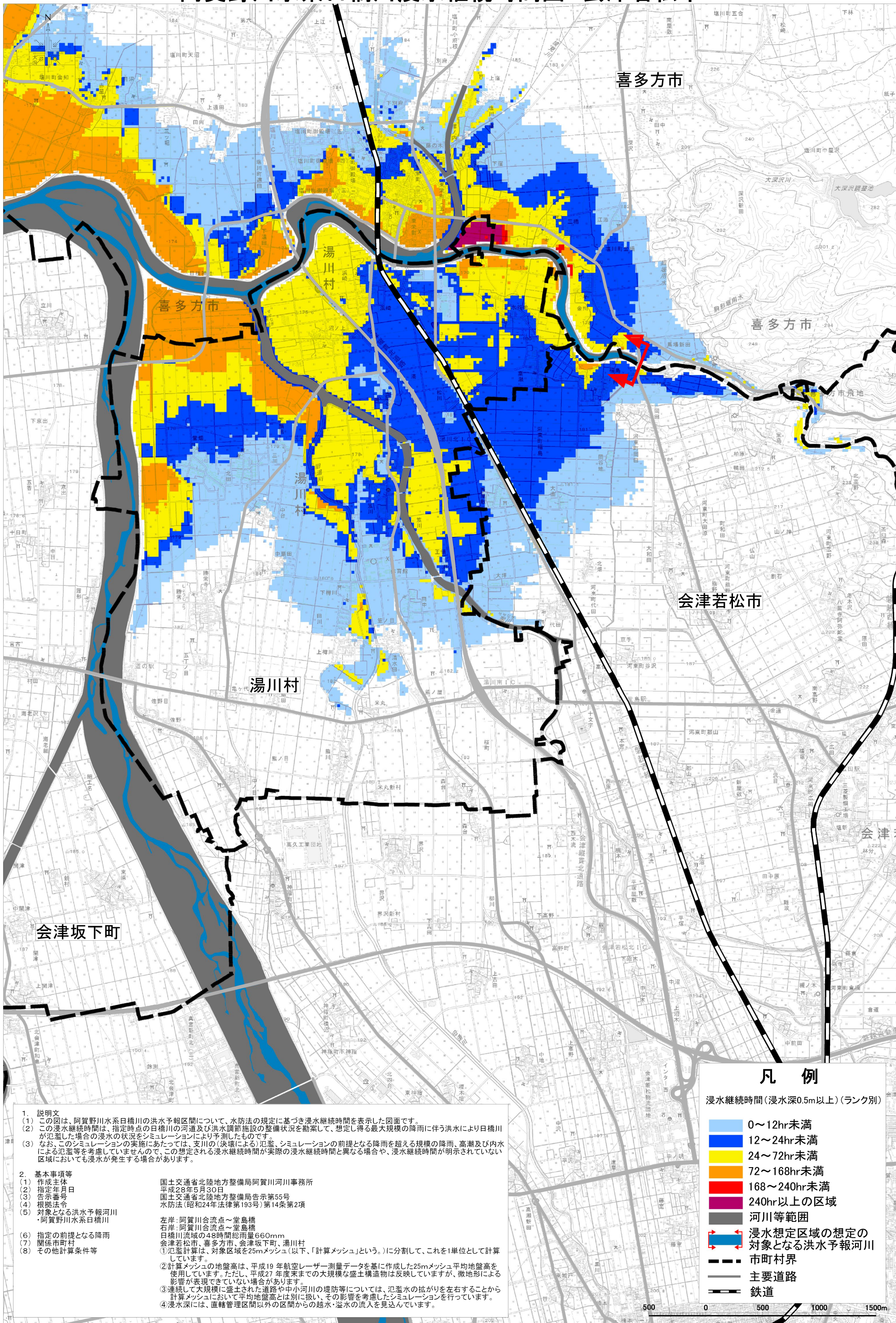


阿賀野川水系日橋川浸水継続時間図 会津若松市



凡例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)(ランク別)

- 0~12hr未滿
- 12~24hr未滿
- 24~72hr未滿
- 72~168hr未滿
- 168~240hr未滿
- 240hr以上の区域
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の想定の対象となる洪水予報河川
- 市町村界
- 主要道路
- 鉄道

1. 説明文
 (1) この図は、阿賀野川水系日橋川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 (2) この浸水継続時間は、指定時点の日橋川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により日橋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 作成主体 国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所
 (2) 指定年月日 平成28年5月30日
 (3) 告示番号 国土交通省北陸地方整備局告示第55号
 (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5) 対象となる洪水予報河川 阿賀野川水系日橋川
 左岸:阿賀川合流点~堂島橋
 右岸:阿賀川合流点~堂島橋
 (6) 指定の前提となる降雨 日橋川流域の48時間総雨量660mm
 (7) 関係市町村 会津若松市、喜多方市、会津坂下町、湯川村
 (8) その他計算条件等 ①氾濫計算は、対象区域を25mメッシュ(以下、「計算メッシュ」という。)に分割して、これを1単位として計算しています。
 ②計算メッシュの地盤高は、平成19年航空レーザー測量データを基に作成した25mメッシュ平均地盤高を使用しています。ただし、平成27年度末までの大規模な盛土構造物は反映していますが、微地形による影響が表現できていない場合があります。
 ③連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の拡がりを左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
 ④浸水深には、直轄管理区間以外の区間からの越水・溢水の流入を見込んでいます。